

# 「メサイア」の魅力って何ですか？

師走間近。商店街の飾りはもうクリスマス気分だ。コンサートも花盛りとなる歳末の仙台に、今年もまた「第九」としても「エンタルのメサイア（救世主）」が響く。



イエスの物語を英語で歌う三時間の大曲。欧米では十二月に欠かせぬ音楽だ。筆者も米国のチャペルで三晩続けて合唱を歌った経験がある。

## 菅 英三子さん(47) ソプラノ歌手

くりたくて

十回記念の会場は市青年文化センター・シアターホール。独唱の部の後に、メサイア

の技藝を有志の合唱、合奏とともに披露する。合唱団には約六十人が集い、九月から月曜夜に練習を重ねてきた。母校・京都市芸術大准教授の仕事や演奏会で多忙だが、練習は休まず笑顔で仲間を迎え

だった十六年前。どんなに努力をしても、地元の人からは「自分たちの音楽を外国人がやっている」との意識を感じたという。そんな折、ドイツのある音楽祭で歌った夜のこの。しーんという長い静寂の後、思わぬ猛烈な拍手を浴びた。「聴かせるのでなく、一緒に響けば、人は壁を超えてつながれる」。そう知った瞬間だったという。



「わたしにできるのは歌うことでした。一人の人間としての思いを、それぞれに発信し、つながり、互いにすばらしいものを受け取る。それが一緒に生きるといふことではないか。そんな仲間を増やしたいのです」

# 思い歌い上げ 人の道照らす

「闇に光を通し、迷った道を照らし出してくれる再生の力」の音楽とすれば、明るく壮麗なハレルヤ・コーラスで知られるメサイアには「導く光」あり。

「闇に光を通し、迷った道を照らし出してくれる再生の力」の音楽とすれば、明るく壮麗なハレルヤ・コーラスで知られるメサイアには「導く光」あり。

「ALS協会仙台支部から初めて招かれて歌うことになった当時、衝撃を受けました。

（病気で全身の筋肉や呼吸の機能が弱っても）家族の負担を思い、人工呼吸器装着を選ばない方も多いという患者さんの現実を知って、わたしにできることは何だろう、と考えました」

編集委員・寺島 英弥  
写真部・長南 康一

## 一問一答

「毎年、会場の宮城学院（青葉区桜ヶ丘）礼拝堂が満員になるほど応援の輪が広がりました。難病のALSをもっと知ってほしい、患者の方々に楽しんでいただきたい。同じく歌を愛する人に参加してもらい、皆で応援する広場をつ

菅さんがウィーンに留学中



すが・えみこ 宮城一女高卒業後、京都市芸術大、ウィーン国立音大で学び、プラハ、ボストンなど内外のオペラや演奏会で歌ってきた。「菅英三子と仲間たち クリスマス・チャリティーコンサート」は12月2日午後2時半。入場券は2500円で、日本ALS協会県支部・安部さん022(712)4371まで。仙台でメサイアは81年前、宮城学院で紹介されて以来市民に歌い継がれ、「メサイアを歌う会」（約100人）が第25回演奏会を12月22日午後4時、電力ホールで開く。長年指揮をする工藤欣三郎さん(66)も、菅さんに賛同し「仲間たち」に加わっている。